



今月のシーニック・バイウェイ



第24回「海鮮！山鮮！きたうら市！」

10月8日(日)「海鮮！山鮮！きたうら市」が開催され、約8千人の来場者で賑わいました。特売が行われた伊勢えび(220kg)は30分ほどで売り切れ、活魚や特産品販売エリアも大勢のお客で溢れていました。天候にも恵まれ、輪投げ大会や島巡りクルージングにも長い行列が出来ていました。きたうら市の最後に行われた抽選会や餅まきも大盛況でした。

地域資源（宝）の紹介コーナー



地域で活動する人



◆内田 勝成(うちだ かつなる)さん

内田勝成さんは、書道で使用する墨や線香花火の原料となる全国的にも大変貴重な「松煙」や「日向備長炭」の製造をおこなっております。その傍ら、昭和45年から北浦村消防団に入団し、延岡市との合併後となる平成19年からは延岡市北浦町を統括する延岡市消防団第6支団長として、常に防災の最前線でも活躍され、平成23年には藍綬褒章を授与されました。



内田 勝成さん

昨年度をもって37年間在籍した消防団を惜しまれながら退団されましたが、現在は若手団員の良き相談役としてまた、「松煙」や「日向備長炭」の製造にも更に意欲的に取り組んでおられます。取材時、ちょうど作業中であつた内田さんに今後の抱負をお伺いしたところ、「松煙は日本古来から受け継ぐ伝統的な産業であるが、現在は日本に数名しか製造していないと聞いている。後継者不足が深刻なことに加え、原料(松)も限られているが、この産業が途絶えないように今後も努力して参りたい。」と力強く語っておられました。



歴史・文化資源



◆洲 崎（佐伯市蒲江）

蒲江ICから車で20分その後、徒歩10分

入津湾の入口、洲の本から対岸の江武戸鼻(エフトバナ)に向かって、砂洲が幅20~30m、長さ500mにわたって伸びています。その先端を洲崎と呼び、一角に「簀戸姫(スヒメ)大明神」が祭られています。その昔「うつぼ船」に乗ってこの辺りの海岸に流れ着いた姫と侍女が、無残にも心ない漁師に殺されたといわれ、このあわれな姫たちの霊を祭ったのがこの社であると伝えられています。



洲 崎

この洲崎周辺の砂浜や海は貝類の宝庫で、春ともなれば入津湾沿岸の人々が集まってきます。明治の中ごろ、**弥次郎貝騒動**が起こった海面もこの沖合です。

(旧蒲江町教育委員会「蒲江の文化財」より)

弥次郎貝騒動 : 弥次郎貝の採掘権をめぐる畑野浦と西野浦外二浦の漁業紛争。これについては地元で裁判記録が保存され、これに基づいた論稿「弥次郎貝騒動」に事件の詳細が記されています。



◆高島（延岡市北浦）

大間海岸まで北浦ICから車で15分

周囲約4km、標高77.2mの無人島で、全島樹木でおおわれ「ビロウ」約330本が自生しており、これは日本北限の自生地として国の天然記念物に指定されています。

島の東側及び南側は、海食崖や海食洞が連なり、その荒々しい自然は人を寄せつけませんが、西側及び北側は砂浜が広がり、干潮時には「さざれ石」を見ることができます。夏場になると瀬渡船で島に渡り、磯遊び等を楽しむ人たちが賑わいを見せています。毎年旧暦の3月21日に行われる宮野浦八十八ヶ所大師祭の七十七番札所が高島島内にあり宮野浦の沖1.3kmに位置しているため、島には渡らず「さざれ石」で有名な宮野浦の大間海岸から七十七番札所の方に向かいお参りをするのが通例となっています。

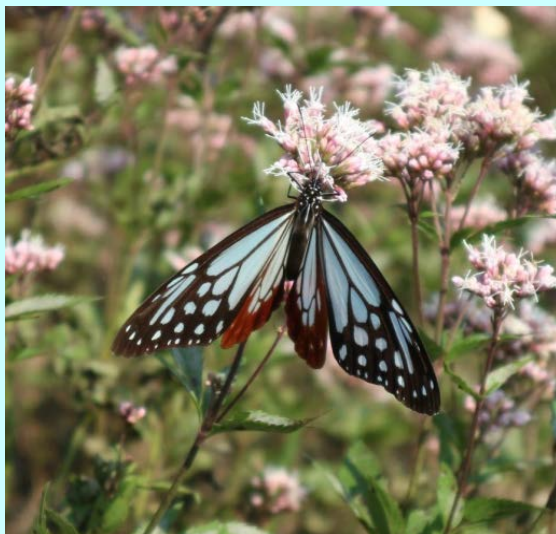


◆たかひら展望公園に「アサギマダラ」が飛来！

10月24日(火)に、たかひら展望公園へ「アサギマダラ」が数匹初めて飛来し、翌日には100匹以上が確認されました。これは、昨年の秋と今年の春に「たかひらの会」が植栽したフジバカマが開花し、その蜜を求めて飛来して来たもようです。「アサギマダラ」は1000km以上も旅をするとされ、小さな体で長い距離を旅してきた姿を見ると、感動して見入ってしまいます。

いつ飛び立っていくかわかりませんが、毎年来ることを期待します！

たかひらの会：「たかひら展望公園」、「たかひら山」の自然保護活動を目的に平成6年に設立。



フジバカマにとまるアサギマダラ



お知らせ

◆11月 秋のイベント月間（北浦、須美江、熊野江、島野浦）

11月のうみウララの週末はイベントがいっぱい！

北浦秋祭り(神楽) 古江 2日(木) 市振4日(土)

北浦臨海パーク秋の大感謝祭2017

3日(金)・4日(土)・5日(日)

島野浦神社秋期大祭 4日(土)・5日(日)

———上記イベントは終了しています———

熊野江神社大祭 22日(水)・23日(木)

普門寺前 コスモス祭り 23日(木)

須美江家族旅行村 すみえファミリーフェスティバル

23日(木)・24日(金)・25日(土)・26日(日)

レストラン海鮮館 秋の特別メニュー 25日(土)・26日(日)

ヤッコソウ見頃(熊野江神社) 11月下旬



神 楽

◆高平山絶景ウォーク大会(秋ののじぎくウォーキング)

11月26日(日)に第10回高平山絶景ウォーク大会が開催されます。申し込みの期限は11月19日までです。この大会は、たかひら展望公園からマリンカルチャーセンター、高平山頂上などを経て、たかひら展望公園まで帰ってくる約10kmのコースとなっております。

ノルディックウォークは、体づくり、スタミナアップ、減量などにとっても効果的で、上半身も使うので肩や首のコリの解消、肩甲骨の可動域の改善にも有効とされています。



開催のチラシ

◆問い合わせ先: NPO法人かまえブルーツーリズム研究会
TEL 080-2728-1527 橋本(9:00~18:00、火木は14:00~18:00)

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先



日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489